Copyright © 2019 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

↑Top

目次

- 改訂情報
- はじめに
- 機能一覧
- システム要件
- 検証済み環境
- 制限事項
- 保証規程
- 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
2019-04-01	初版

はじめに

目次

- 本書の目的
- 製品の利用対象

本書の目的

本書では IM-PDFCoordinator for Accel Platform のリリース内容について記載しています。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

- IM-PDFCoordinator for Accel Platform を利用したアプリケーション開発

機能一覧

目次

- はじめに
- 基本機能
- セキュリティ機能詳細
- マージ機能（透かし・重ね合わせ機能詳細）
- ページ機能（結合、抽出・分割機能詳細）
- エディット機能（編集、加工機能詳細）
- 呼び出し方法一覧

はじめに

IM-PDFCoordinator for Accel Platform は、サーバ上でPDFファイルを編集・加工する為のPDF加工ライブラリです。
以下の機能を利用可能です。

下記以外にもサーバでPDF編集・加工する特殊な機能を提供できる場合があります。お気軽に営業までお問合せください。また、V7.2以下のバージョンで機能を利用したい場合も、個別にご相談をください。

IM-PDFCoordinator for Accel Platform は利用する機能によって価格が決まる製品です。詳細は弊社営業までお問い合わせください。
IM-PDFCoordinator for Accel Platform はWEBワークフローシステム、文章・図面管理システムなどと連携し、様々な場面でご利用いただけます。
Windows以外のサーバ上で利用する場合には、個別に営業までお問い合わせください。

本製品をインストールするサーバのOSのロケールは以下に対応しています。

- 日本語

以下に本製品の機能一覧を列挙します。
各機能の仕様や設定方法に関しては、各マニュアルまたはセットアップガイド等を参照してください。

機能一覧

No.	機能	説明
1	セキュリティ機能	配布制限機能（URL/フォルダ指定機能、閲覧期限の指定機能）
2	マージ機能	印鑑押印 / 透かし / 重ね合わせ・レイヤ/用紙サイズ変更（動的にデータを渡す印鑑や透かしを実現するには、IM-PDFDesigner for Accel Platform が別途必要なケースがあります）。

No.	機能	説明
3	ページ機能	結合 / 分割・抽出 / 回転
4	エディット機能	文字・画像追記 / しおり・リンク追記 / 注釈（四角形）追記
5	共通使用可能関数機能（上記4機能いずれかを購入すれば使用可能）	ページ数・用紙サイズ取得/セキュリティ付与・解除（解除はパスワードが既知の場合のみ）

基本機能

機能	機能概要
セキュリティ機能	PDFファイルにセキュリティを付与する機能です。 ▪ 本機能は、API（Java）で提供されます。 ▪ 設定可能なセキュリティの種類については、セキュリティ機能詳細を参照ください。 ▪ リモート呼び出し方式 　▪ 標準的な利用方法です。別サーバ上に構築しているPDFセキュリティ付与機能を、intra-mart Accel Platform から呼び出す機能です。この機能はAPIで提供され、開発者はリモート呼び出しを意識することなくAPIを呼び出すことでPDFセキュリティ付与機能が利用できます。APサーバが1台の場合でも、この方式で対応可能です。 　▪ この機能は設定ファイルで利用可否を指定できます。 　▪ IM-PDFCoordinator for Accel Platform専用サーバ（Windows） が複数台存在する場合、負荷分散のために自動的にラウンドロビンで処理を振り分けます。IM-PDFCoordinator for Accel Platform専用サーバ（Windows） を追加することで上位プログラムを変更することなくスケールアウトが可能です。
マージ機能（PDFファイルの透かし・重ね合わせ）	複数のPDFファイルに透かし・重ね合わせを行う機能です。 ▪ 本機能は、API（Java）で提供されます。 ▪ 詳しくは、透かし、重ね合わせ機能詳細を参照ください。
ページ機能（PDFファイルの結合、抽出・分割）	複数のPDFファイルを結合する、また、PDFファイルを抽出・分割する機能です。 ▪ 本機能は、API（Java）で提供されます。 ▪ 詳しくは、結合、抽出・分割機能詳細を参照ください。

機能	機能概要
エディット機能（PDFファイルの編集、加工）	PDFファイルを編集する、また、加工する機能です。 ▪ 本機能は、API（Java）で提供されます。 ▪ 詳しくは、編集、加工機能詳細を参照ください。

セキュリティ機能詳細

機能	機能概要
保存場所制限	指定したURL、または物理パスでPDFファイルを開いた場合のみ閲覧できるようにする機能です。
閲覧期限制御	PDFファイルへ閲覧期限を設定し、期限が過ぎたPDFファイルを閲覧できなくする機能です。期限は、PDFファイルを開いたマシンの日時をもとに判断されます。
パスワード付与	PDFファイルへパスワードを付与し、閲覧/参照/更新/印刷等について制限する機能です。
パスワード解除	パスワード付きのPDFファイルを、同パスワードを指定することで解除する機能です。

マージ機能（透かし・重ね合わせ機能詳細）

機能	機能概要
PDFファイルの重ね合わせ	PDF同士を重ね合わせる機能です。
PDFファイルにすかしを挿入	PDFファイルにレイヤ(透明な板)を重ねて、レイヤ自体を制御することで、レイヤ毎に文字や画像等のオブジェクトを印刷制御、表示制御する機能です。
用紙サイズの変更	PDFファイルを、指定した用紙サイズに縮小、拡大する機能です。
パスワード付与	PDFファイルへパスワードを付与し、参照/更新/印刷等について制限する機能です。
パスワード解除	パスワード付きのPDFファイルを、同パスワードを指定することで解除する機能です。

ページ機能（結合、抽出・分割機能詳細）

機能	機能概要
PDFファイルの結合	PDF同士の順序等指定して結合する機能です。
PDFファイルの抽出・分割	複数ページを持つPDFファイルから、指定したページを抽出・分割し、別のPDFファイルを作成する機能です。
PDFファイルの回転	PDFファイルを指定した角度で回転させる機能です。
パスワード付与	PDFファイルへパスワードを付与し、参照/更新/印刷等について制限する機能です。
パスワード解除	パスワード付きのPDFファイルを、同パスワードを指定することで解除する機能です。

エディット機能（編集、加工機能詳細）

機能	機能概要
PDFファイルへの印鑑付与	PDFファイル上の指定したページ、指定した位置にベクターデータの印影及びラスターデータの印影を付与する機能です。
PDFファイルへの文字・画像付与	PDFファイル上の指定したページ、指定した位置に文字及び画像を付与する機能です。
PDFファイルへのしおり・リンク付与	PDFファイル上の指定したページ、指定した位置にしおり・リンクを付与する機能です。
PDFファイルへのフォーム、注釈付与	PDFファイル上の指定したページ、指定した位置にフォーム、注釈付与を付与する機能です。
PDFファイルへのJavaScript挿入	PDFファイルにJavaScriptを挿入する機能です。
パスワード付与	PDFファイルへパスワードを付与し、参照/更新/印刷等について制限する機能です。
パスワード解除	パスワード付きのPDFファイルを、同パスワードを指定することで解除する機能です。

呼び出し方法一覧

リモート呼び出し(REST/SOAP)機能が必要な場合は、個別に営業までお問合せください。

機能	セキュリティ機能	マージ機能（透かし・重ね合わせ）	ページ機能（結合、抽出・分割）	エディット機能（編集・加工）
JavaEE開発モデル	○	○	○	○

スクリプト開発モデル	○	○	○	○
リモート呼び出し(REST/SOAP)	×	×	×	×

システム要件

目次

- intra-mart Accel Platform のサーバ要件
  - バージョンと連携エンジンの整合性確認表
- IM-PDFCoordinator for Accel Platform専用サーバ（Windows） 要件
- クライアント要件
- ライセンス要件

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

intra-mart Accel Platform のサーバ要件

- intra-mart Accel Platform 2019 Spring （Standard Edition、Advanced Edition、Enterprise Edition）
- 利用する intra-mart Accel Platform のサーバ要件に準拠します。（ Red Hat Enterprise Linux を除く）

> **注意**
>
> IM-PDFCoordinator for Accel Platform は intra-mart Accel Platform のサーバ要件のオペレーティングシステムにおいて Red Hat Enterprise Linux 6 、 Red Hat Enterprise Linux 7 、 Red Hat Enterprise Linux 7.1 には対応しておりません。
> Red Hat Enterprise Linux 6 、 Red Hat Enterprise Linux 7 、 Red Hat Enterprise Linux 7.1 上で稼働させたい場合は、個別に営業までお問い合わせください。

> **注意**
>
> データベース等のシステム要件に関して、intra-mart Accel Platform では対応していても、アプリケーションでは対応していない場合があります。
> 必ず、本ドキュメントに記載されているシステム要件をご確認ください。

バージョンと連携エンジンの整合性確認表

本製品は連携するライブラリのインストールが必要です。
対応しているバージョンは以下になりますので、正しい組み合わせでご使用ください。

アップデートバージョン		連携ライブラリバージョン
2012 Winter	(8.0.0)	PDFメイクアップ 2.8.1
2014 Spring	(8.0.1)	PDFメイクアップ 3.0.0.3
2014 Winter	(8.0.3)	PDFメイクアップ 3.3.0

アップデートバージョン		連携ライブラリバージョン
2014 Spring	(8.0.4)	PDFメイクアップ 3.4.1
2016 Spring	(8.0.5)	PDFメイクアップ 3.7.1
2016 Winter	(8.0.6)	PDFメイクアップ 3.7.1
2017 Spring	(8.0.7)	PDFメイクアップ 3.8.2
2017 Summer	(8.0.8)	PDFメイクアップ 3.8.6
2017 Winter	(8.0.9)	PDFメイクアップ 3.8.6.1
2018 Spring	(8.0.10)	PDFメイクアップ 3.8.6.2
2018 Winter	(8.0.11)	PDFメイクアップ 4.0.0.11
2019 Spring	(8.0.12)	PDFメイクアップ 4.0.1.0.3

IM-PDFCoordinator for Accel Platform専用サーバ（Windows） 要件

APサーバ側は、 IM-PDFCoordinator for Accel Platform のサーバ要件に準拠します。
IM-PDFCoordinator for Accel Platform では、PDFファイルを処理するサーバが必要です。
PDF処理サーバとしては以下が必要です。

- WindowsServer2012 / WindowsServer2012 R2
- WindowsServer2016

APサーバがLinuxの場合には、個別に営業までお問合せください。

クライアント要件

IM-PDFCoordinator for Accel Platform でセキュリティを付与したPDFファイルを閲覧する際には、
Adobe Reader等のPDF閲覧ソフトが必要です。
配布制限の機能については、Windows上のAdobeReader/AdobeAcrobatでの表示が前提です。
AdobeReader/AdobeAcrobat以外の環境はサポート対象外です。
AdobeReader/AdobeAcrobatに起因するトラブルについてはサポート対象外です。
事前に想定しているPDF閲覧環境にて必ず動作をご確認ください。

- **セキュリティ機能の動作条件.pdf**

> コラム
>
> タブレット / 携帯端末においてPDFファイルを閲覧する際は、 *タブレット/携帯端末においてPDFファイルを閲覧する際の注意点* を参照してください。

ライセンス要件

- 本番マシン / 試験マシン / 開発マシン毎に環境を分けたい場合、各環境ごとにライセンスのご購入が必要です。
- IM-PDFCoordinator for Accel Platform を分散構成で利用する場合、インストール数分（APサーバ分もしくは分散サーバの台数分）のライセンスが必要です。
- ライセンス購入価格については、intra-mart特約店にお問い合わせください。
- 年間保守契約に加入しているユーザは、製品に関する問い合わせおよび、製品のバージョンアップを受けることができます。詳細は営業までお問い合わせください。

検証済み環境

- 以下、弊社動作検証済みの組み合わせです。

IM-PDFCoordinator for Accel Platform 環境

intra-mart Accel Platform	WEBアプリケーションサーバ	Java	RESTサーバ（分散環境の場合）	Java
intra-mart Accel Platform 2018 Winter	Resin 4.0.58	OpenJDK 11	Tomcat 8.0.21	OpenJDK 11
intra-mart Accel Platform 2018 Winter	Payara 5.182	JDK 1.8.0_171	Tomcat 8.0.21	JDK 1.8.0_171
intra-mart Accel Platform 2019 Spring	Resin 4.0.58	OpenJDK 11	Tomcat 8.0.21	OpenJDK 11
intra-mart Accel Platform 2019 Spring	Payara 5.182	JDK 1.8.0_171	Tomcat 8.0.21	JDK 1.8.0_171

制限事項

目次

- 共通の制限事項
- サポートするPDFファイルの制限
- PDF生成ソフト以外の注意事項
- セキュリティ機能の動作条件
- タブレット/携帯端末においてPDFファイルを閲覧する際の注意点
  - 原因
  - 対応策
  - 注意点

共通の制限事項

- Linux、UNIX での利用については、個別に営業までお問い合わせください。
- 本セキュリティ適用時に、対象PDFファイルの 注釈・フォーム・しおり・リンク・署名等は削除されます。このため、ファイルの見た目が変更になってしまう可能性があります。これらの情報が必要な場合は、印刷して再度PDFを作成してください。
- 利用環境のJDKは必ずは統一してください。バージョン、ビット数の異なるJDKを利用した運用はサポート対象外です。
- ウイルスソフトによっては、ウイルスチェック時にファイルを掴むものがあります。その場合PDF加工・編集関連のエリアをウイルスチェックの対象から外す必要がある場合があります。
- IM-PDFCoordinator for Accel Platform と IM-PDFAutoConverter for Accel Platform を同一サーバ上で同居させる場合には、環境変数 PATH の設定順序を、
- 1. IM-PDFCoordinator for Accel Platform
- 2. IM-PDFAutoConverter for Accel Platform
- とする必要があります。上記の順番で設定がされていない場合、エラーとなります。
- その他の制限事項については、 PDFメイクアップ のマニュアルを参照してください。
- その他最新の技術情報は、intra-mart Developer Support Site を参照してください。
- http://www.intra-mart.jp/developer/index.html

サポートするPDFファイルの制限

事前にご評価頂ければ、一般的なPDFファイルはほとんど問題がないことはご理解頂けると思いますが、安定した運用を考えますとPDFファイル生成するソフトを制限することをお勧めします。以下は当社がバージョンアップ等を常にウォッチして動作確認をしているPDFファイルの範囲です。ご確認をお願い致します。

- **サポートするPDFファイルの範囲.pdf**

PDF生成ソフト以外の注意事項

以下のケースはサポート対象外です。

- PDFファイルにオープンパスワードが付与されており、オープンパスワードがわからない場合
- PDFファイルにセキュリティパスワードが付与されており、セキュリティパスワードがわからない場合
- PDFファイルに電子署名が付与されている場合
- PDFファイルのポートフォリオ機能が利用されている場合

上記以外の制限については、必ず事前に以下のドキュメントを確認ください。

- **サポートするPDFファイルの範囲.pdf**

セキュリティ機能の動作条件

事前に以下のドキュメントをご覧ください。ご不明な点がございましたら弊社営業までお問い合わせください。

- **セキュリティ機能の動作条件.pdf**

タブレット/携帯端末においてPDFファイルを閲覧する際の注意点

モバイル端末（iOS やAndroid 等の非WindowsOS）にてPDFファイルを閲覧する場合、PDFファイルにフォントが埋め込まれていないと、PDFファイルの見た目が崩れる可能性があります。

原因

製品のデフォルトの設定においては、PDFファイル内部では、フォント名・フォントサイズなどのデータが格納されており、フォントファイル自体は存在しておりません。
通常PDF ファイルを表示する場合、フォント名・フォントサイズなどのデータを閲覧する機器内のフォントファイルを利用し表示されています。
AdobeReader の場合は該当フォントが端末上に存在しない場合はそのフォントに近い代替フォントを表示させる機能(すべてのフォントの代替はしない)があります。
PC やモバイル端末においては同じフォントが存在しない場合があります (特に利用頻度が高いMicrosoft系のフォントは、通常は Windows にしか入っておりません)。
PDF ファイルを表示した場合、フォントの幅等が違うものが参照され、対象ドキュメントの表示が崩れた状態となります。

対応策

フォント埋め込み済みのPDFファイルの場合、参照フォント情報はPDFファイル内のものから対応し、正確な表示となります。
モバイル端末でPDF ファイルを表示させる場合は、必ずフォントの埋め込み処理を行い、表示の崩れを防いでください。
フォント埋め込みの設定方法については、各製品のマニュアルを参照してください（一部の製品はフォント埋め込みに対応していません。詳細は営業までお問合せください。）。

注意点

PDF にフォントを埋め込む場合、参照フォント領域がPDF に追加される為、出力されるPDF ファイルのサイズが大きくなります。
これはPDF ファイルの仕様です。
どれくらいファイルサイズが大きくなるのかに関しては、実際のファイルにて事前にご確認ください。

保証規程

目次

- 保証内容及び対象
- 保証の適用除外
- 免責
- その他の契約との関係

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）
及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、
本製品に同封され、又は当社ホームページ（ http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=pdfc ）に
掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。
また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価として
イントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザ登録を完了されたお客様のみに
当社が行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、
接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は
一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）
  その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、
本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、
本書の記載が優先するものとします。

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上